モロッコ　カサブランカ地方　環境局　景観・環境建築部
Ms. Yasmina MREEOUN さん
（2010 年度「環境モデル都市の実践活動（住民協働による持続可能な環境都市づくり）」コースに参加）

親愛なる JICA 九州と水俣市の方々へ

現在、さまざまなプロジェクト関係者への研修や連携のサイクルを始めるための準備をしているところで、結果をお知らせするのに時間がかかっています。1 月から、私たちはプロジェクトを加速させ、学校を活性化するという、新たな課題へ対応することに注力していました。

日本から帰国して以来、私は、地方自治体や地域の教育機関、いくつかの民間企業との共同による農村部の学校やモスクの環境の向上に取り組んでいます。
具体的には、次のような活動をしています。

-学校/モスクに水道をつなぐ

-学校/モスクの衛生設備（排水網など）を整える

-学校に「緑のフェンス」を整備する

-トイレ（女子用・男子用）、手洗い場を整備する

-図書やコンピュータ、DVD などを備えた「環境クラブ」を作る

2010 年から今日まで、私たちは、モハメディア県と、大カサブランカ地方の Nouaceur 州と Médiouna 州の 32 の地方の学校や 90 の地方のモスクで設備を整えました。

「環境認定校」のプログラムは 2006 年にモロッコ全国の環境保護を行うモハメッド 6 世財団によって始まりました。このプログラムは、学生に、持続可能な開発・行動・環境に配慮したライフスタイルについて教えることを目的としています。
「環境認定校」のプログラムでは、学生や学校の関係者は、生活の場で具体的な環境プロジェクトを行うことができます。ここでは「水、エネルギー、廃棄物管理、生物多様性、食べ物」という 5 つのテーマについて、発達段階に応じた環境認定校の 7 つのステップとして共有しています。

大カサブランカ地方については、 33 の都市部の学校ではプログラムを実施していますが、そのうち 2013 年に認定されたのは 3 校だけです。他に 10 の学校で、プログラムを進行中です。

わたしたちは、カサブランカの教育・訓練担当部署と連携して、学校を支援するとともに、新たに認定を受けるための準備を行う学校を探しています。
より多くの学校と連携するために、教育・訓練担当部署では、ウェブサイトを立ち上げました。このサイトで

はプログラムの説明を行い、学校との対話も行えるようにしていますが、まだまだ、参加している学校は多くはありません。
主な問題は、以下の点と考えています。
-これらの取り組みを促進する可能性のある協力者が不足していること
-まだ関心が低く、私たちのアプローチに対する協力が不足していること
-実施や活動を促進するための資金と支援が不足していること

-学校の子供たちの創造性が詰まった緑のフェンス

-ハーブや野菜が植えてある緑化コーナー

-ごみの減量やリサイクル、水の節約、など、環境に配慮した活動

JICA 九州研修業務課では、2013 年 11 月から 2014 年 1 月にかけて、「水俣市との協力による環境分野研修コース」について、帰国研修員を対象としたアンケート調査を行い、その結果を「実施報告書」にまとめました。
Yasminaさんは、この調査に協力してくれた帰国研修員の一人です。2014年5月に、同報告書の公開について承諾を得るために Yasumina さんに連絡したところ、Yasmina さんが推進中のプロジェクトについて、最新の様子をレポートにまとめてくれました。